

# 1 新聖歌 68 久しく待ちにし

1  
久しく待ちにし 主よ、とく来たりて、  
み民のなわめを 解き放ちたまえ。  
主よ、主よ、み民を 救わせたまえや。

2  
あしたの星なる 主よ、とく来たりて、  
お暗(ぐら)き この世に み光をたまえ。  
主よ、主よ、み民を 救わせたまえや。

4  
ちからの君なる 主よ、とく来たりて、  
輝くみくらに とわに即(つ)き給え。  
主よ、主よ、み民を 救わせたまえや。

## イエス あなたの名は

E G#m7

## イエス あなたの名は

F#m7 B A/B B6 B7

## 何よりも 素晴らしい

E G#m7

## インマヌエル 主は私と

F#m7 B7 E

## 共にいる いつまでも

### <慕い求めます>

F Dm Bb F Gm C

## イエス 愛します 愛します 心注ぎ

F C Dm Bb C F

## ただ あなただけ 慕い求めます

Bb F Gm C F

## あふれる あふれる あなたを慕う 思い

Bb F Dm Gm C F

## みそばに ひきよせて 主よ 慕い求めます

# 5 祈りのガイドライン

1. 賛美と感謝の祈り
2. 悔い改めと主を慕い求める祈り
3. 個人的な願いの祈り
4. とりなしの祈り
5. 日本と世界の平和を願って...

- ・大和カルバリーチャペルと大川牧師ご夫妻のため
- ・瀬戸カルバリーチャペルと倉知牧師家族のため
- ・教会が成長しますように!

- ①信徒の皆様が恵まれた信仰生活を送り、キリストの似姿に変えられる成熟と祝福に与りますように
- ②新しい方が来られますように、未信者の方がイエス様を信じ、救われ、洗礼に導かれますように
- ③地域の方々に良い証がたてられ、神の国が広がられますように。
- ④瀬戸市・愛知県・日本全国・世界宣教のために用いられる教会となりますように。

## 信仰宣言

- 「私の家族は全員救われます」
- 「日本にはりバイブルが始まっています」
- 「私も用いられます」
- 「すべての問題は解決します」
- 「することなすこと、みな成功します」
- 「私のまわりには奇跡が起こります」
- 「すべてのことを感謝します」
- 「イエス様がご一緒ですから」
- 「ハレルヤ主よ感謝します」

瀬戸カルバリーチャペル Seto LIFE ART Studio

489-0909 愛知県瀬戸市みずの坂 5-64 0561-48-8899

牧師：倉知契 kei.kurachi@gmail.com



Adoration of the Magi 博士たちの礼拝

## 祈りの小径(こみち)

Number:089 瀬戸カルバリーチャペル

「祈りの小径(こみち)」の名称は、愛知県瀬戸市・せともの街の名所「窯垣の小径」と、詩人・八木重吉の作品にある「祈りの路」から名付けられました。各ページにある数字の順に、賛美→聖書→黙想→解説→祈りを致します。

## 2

### 今日の聖書のことば

ゆっくり読んで黙想しましょう。

マタイによる福音書2章9～18節

9 彼らは王の言うことを聞いて出かけると、見よ、彼らが東方で見た星が、彼らより先に進んで、幼な子のいる所まで行き、その上にとどまった。10 彼らはその星を見て、非常な喜びにあふれた。11 そして、家にはいって、母マリヤのそばにいる幼な子に会い、ひれ伏して拝み、また、宝の箱をあけて、黄金・乳香・没薬などの贈り物をささげた。12 そして、夢でヘロデのところへ帰るとのみ告げを受けたので、他の道をとって自分の国へ帰って行った。

13 彼らが帰って行ったのち、見よ、主の使が夢でヨセフに現れて言った、「立って、幼な子とその母を連れて、エジプトに逃げなさい。そして、あなたに知らせるまで、そこにとどまっていなさい。ヘロデが幼な子を捜し出して、殺そうとしている」。14 そこで、ヨセフは立って、夜の間に幼な子とその母とを連れてエジプトへ行き、15 ヘロデが死ぬまでそこにとどまっていた。それは、主が預言者によって「エジプトからわが子と呼び出した」と言われたことが、成就するためである。

16 さて、ヘロデは博士たちにだまされたと知って、非常に立腹した。そして人々をつかわし、博士たちから確かめた時に基いて、ベツレヘムとその近くの地方とにいる二歳以下の男の子を、ことごとく殺した。17 こうして、預言者エレミヤによって言われたことが、成就したのである。

18 「叫び泣く大いなる悲しみの声がラマで聞えた。ラケルはその子らのためになげいた。子らがもはやいないので、慰められることさえ願わなかった」。

## 3

### 黙想(Life Art Meditation)の時間

(感じたこと・恵まれたことをノートします)

同時に、夢で受けた神様からの御告げに彼らが従ったことで、怖い出来事(事件)が起こりました。ヘロデ王による、ベツレヘムの2歳以下の子どもの虐殺です。ヨセフとマリヤは幼子を持ってエジプトに逃れます。そのエジプトでもかつて、生まれた男の子の虐殺があったことを覚えておられるでしょうか？その時、ナイル川に葦のかごに入れられて救い出されたのが、奴隷からの解放者モーセでした。人間の業と怖い現実の痛みを知り、なお、そこから助け出された恵みを知る者が、神の民を救いに導くのです。

また、このベツレヘムでの幼児虐殺は、エレミヤの預言の成就であると記されています(エレミヤ書31章)。これはバビロン捕囚時に、エルサレムにいた民が、一度ベツレヘムに近い町ラマに集結されて、バビロンに捕囚されていった歴史と重なります。多くが処刑され、多くが家族と生き別れになって捕囚された悲しみ。それを、12部族の長ヤコブの妻ラケルが、12番目の子ベニヤミンを産んだ時に、亡くなってしまった母の悲しみと重ねています。自分の子を抱くことなく、育てることができずに亡くなった悔恨は、「慰められることさえ願わなかった」と記されています。

神なき社会における、怒りに任せた虐殺という最もおぞましい人間の業・エゴ・罪の怖しさを肌身に感じる。そのことなしに、救い主の誕生の真の必要性和意味、そして救いの喜びは得難いのです。また愛する者と離れ離れにならなければならない離別の痛み、悔しさ、筆舌に尽くしがた大いなる悲しみなし、クリスマス物語の感動を誰かに届けることはできません。マタイは、キリスト誕生の大いなる喜びと大いなる悲しみを併記することで、私たちに大切なメッセージを残しています。それが私たちの頭上に輝く星(しるし)なのです。

そこには「隠された希望」があります。探し求める者だけが知り得る希望です。エレミヤ書31章15節に続く、16・17節こそが、悲しみの先にある希望です。

エレミヤ書31章16～17節

主はこう仰せられる、「あなたは泣く声をとどめ、目から涙をながすことをやめよ。あなたのわざいに報いがある。彼らは敵の地から帰ってくると主は言われる。あなたの将来には希望があり、あなたの子供たちは自分の国に帰ってくると主は言われる。

## 4

### みことばの解説

「朝の宣言」からみ言葉の学びを続けていましたが、今日はクリスマス・スペシャルのみ言葉を学びます。



東の博士たちが幼子を礼拝するために、2000km以上も旅をしてきたことを12/5の礼拝でお話しました。星という「しるし」が彼らを救い主のもとに導きました。それは、① やがて異邦人にも「求める者」には救いが与えられる予表であり、② 東(ひがし)は実際には「バビロニア地方」を指すと考えられているので、「バビロン捕囚」を象徴する、あらゆる束縛からの解放と国家再建を意味し、また③ 聖書では「東」を神さまから離れてしまった場所(創世記3・4章)、すなわち罪の象徴と捉えることができるので、罪からの救いを表す(12/5 週報コラム参照)と考えられます。つまり、誰でも(どんな人でも)キリストにあるならば、新しい人に変えられ、新しい道(他の道)を通して生きてゆけること意味しています